

# 誰もが主役・ 輝く最上の ひとつづくり シンポジウム



十人十色、  
キラリ★と輝く  
最上の女性たち



令和4年

11月6日(日) 13:30~15:30

会場:最上広域交流センター ゆめりあ 2F会議室  
(新庄市多門町1番2号)



コーディネーター

新庄市  
(株)さくらプランニング  
工藤 恵子さん



パネリスト

新庄市  
劇団ICO  
信夫 春香さん



パネリスト

金山町  
ちいさな町のちいさな花屋さん  
栗田 由香さん



パネリスト

最上町  
赤倉編集室  
山崎 香菜子さん



パネリスト

舟形町  
陶芸作家  
金 寛美さん

応募  
方法

ゆめりあ会議室(定員40名程度)

※いずれも事前申し込みが必要です。右のQRコードを読み取ってお申込み下さい。



主催:誰もが主役・輝く最上のひとつづくりシンポジウム開催実行委員会(山形県最上総合支庁・最上地域市町村)  
問合せ:事務局(山形県最上総合支庁子ども家庭支援課) TEL.0233-29-1245

# 誰もが主役・輝く最上の ひとつづくりシンポジウム

十人十色、  
キラリ★と輝く  
最上の女性たち



- 日時 令和4年11月6日(日) 13:30~15:30(13:00入場)
- 会場 最上広域交流センター ゆめりあ 2F会議室(新庄市多門町1番2号)
- 定員 新型コロナウイルス感染症対策のため会場の入場人数を40名程度とさせていただきます。
- 対象 興味のある方ならどなたでも参加できます。
- 参加料 無料(事前に申込みが必要です。)

- 申込み 右のQRコードを読み取って「やまがたe申請ポータルサイト」の申込みフォームにアクセス、氏名・電話番号・メールアドレス・市町村を入力してお申込み下さい。  
令和4年11月2日(水)までにお申込み下さい。  
※申込みの際にお知らせいただいた個人情報は当事業以外に使用することはありません。  
URL: [https://s-kantan.jp/pref-yamagata-u/offer/offerList\\_detail.action?tempSeq=6409](https://s-kantan.jp/pref-yamagata-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=6409)

- 内容 最上地域で活躍されている4名の女性パネリストとコーディネーターによるトークセッションです。それぞれの活動状況を紹介いただくほか、活動のきっかけ・やりがい・課題や悩み・地域への想いをテーマに、参加者の今後の活動の一助になる内容をお話いただけます。

やまがたe申請ポータルサイト

申込み  
QRコードは  
こちら→



新庄市 (株)さくらプランニング 工藤 恵子さん

2009年から自身の活動経験をもとに相談事業に従事。8年間で延べ2万人の活動支援を行う。2017年に、企業や行政・団体等の広告物や出版物のデザイン制作・写真動画撮影編集・ウェブサイト運営支援等を行う企画制作会社(株)さくらプランニングを設立、取締役役に就任。モガジョ等の団体で人づくりまちづくりでも活動中。



新庄市 劇団ICO 信夫 春香さん

最上地域・北村山地域を中心に活動する劇団の代表を務めている。地元の劇団にて17年間活動ののちに、昨年度、劇団ICOを立ち上げた。舞台の役者・脚本・演出などを行うとともに、映画やテレビのエキストラにも数多く出演。過去に東根市のひがしねプリンセスと、山形県のフルーツクィーンとして全国を観光親善大使として巡った際に、地元山形の魅力をさらに様々な形で発信していきたいと考えた。地元やまがたを元気にするため、お客様に楽しんでいただける演劇作りを目指している。地域の文化振興に貢献し、地域内の企業や劇団との共同企画を行うなど、新しい創作活動を行っている。



金山町 ちいさな町のちいさな花屋さん 栗田 由香さん

生まれも育ちも金山町。10年間金山町役場に勤務しながらフラワーデザインの専門学校に通い、免許を取得。男5人の母親、近くに住む車椅子生活の母の介護もやりながら金山町の中心部でちいさな花屋を経営している。こだわった鉢に季節に合わせたお花で寄せ植え、ドライフラワーでは金山町の自然あふれる草花を自ら乾燥させて流木ガーランドに。スワッグ、リース、しめ飾りなども作り、ふるさと納税返礼品にもなっている。



最上町 赤倉編集室 山崎 香菜子さん

1983年宮城県白石市出身。2007年多摩美術大学を卒業後、編集プロダクション、タウン誌の編集を経て、編集による地域活性を目指し、2009年から埼玉県鶴ヶ島市農業コーディネーターとして農業活性に携わる。2011年の東日本大震災を機に東北へ戻ることを決意。2012年に山形市にある東北芸術工科大学グラフィックデザイン学科副手を勤め、任期終了後に印刷会社で印刷物の企画編集を担当。2017年、結婚を機に最上町に移住すると同時に最上町地域おこし協力隊に着任。2021年11月に地域編集の拠点である赤倉編集室を立ち上げ、2022年4月に地域編集の拠点となる複合施設une(うね)を赤倉温泉にオープンさせた。



舟形町 陶芸作家 金 寛美さん

舟形焼若あゆ薫風窯を構え活動する陶芸作家。平成22年12月、舟形町若あゆ温泉の敷地内に舟形焼の窯元として築窯。“土いじりをしていると時間を忘れ、素直な気持ちで土に向かえる”そんな土の不思議な魅力に惹かれ、大学を卒業後、青森にある窯元へ弟子入りし技術と精神を学ぶ。土独特の風合いを手に触れて感じてもらいたいと、丸みや温かみを感じさせ縄文土器のような素朴感に現在の造形を加えた作品を多数作陶。

主催:誰もが主役・輝く最上のひとつづくりシンポジウム開催実行委員会(山形県最上総合支庁・最上地域市町村)  
問合せ:事務局(山形県最上総合支庁子ども家庭支援課) TEL.0233-29-1245